



薫風

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.8 令和6年7月5日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

第1回読み聞かせ



6月20日(木)親師会教育厚生部の皆さんによる「第1回読み聞かせ」が行われました。今回も様々なテーマの本の読み聞かせをしていただき、子供たちは興味津々で、目を輝かせながら聞いていました。本校では今年度も「朝の読書」や「暗唱チャレンジ」など、読書活動に力を入れて取り組んでいます。子供たちには、読書の楽しさを感じ、これからはたくさんの本を読んでいってほしいと思います。

親師会教育厚生部の皆様には、子供たちのために朝早くから御協力いただき、心から感謝申し上げます。



図書をとおして

6月27日(木)図書館司書の根本先生が、5・6年生に対して課題図書の説明を行い、図書への関心や理解を深める学習を行いました。今年の課題図書の中に「海よ光れ!」という本があります。この本は、東日本大震災で被災した岩手県大沢小学校の子供たちが、避難所となった学校で地域の被災者の方々と共に自分たちには何ができるのかを考え、行動したお話です。



授業の始めに、明神小学校元校長宮本 慎吾 先生をお招きして講話をいただきました。宮本先生は、東日本大震災が発生した当時、明神小学校の校長として、体育館に避難されてきた方々のために様々な支援を行い、尽力されました。職員をはじめ親師会の皆さんと協力しながら、不安と寒さの中で過ごされている地域の方のために、毛布や飲み物、暖房のある教室を提供したそうです。



実際に体験された方のお話は言葉の重みが違います。子供たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。自然災害はいつ、どこで起こるか分かりません。自分の命、大切な人の命を守るため、地域全体で助け合うことの大切さを学ぶことができた貴重な時間となりました。

あいさつ

明神小の子供たちは、朝から大きな声で「おはようございます!」と気持ちの良いあいさつをすることができます。ある朝、私が正門で子供たちを迎えていると、遠くから「校長先生、おはようございます」と大きな声であいさつをする児童がいました。その児童は1年生の男の子でした。その児童は、私にあいさつをした後も、歩道を通りしていたご高齢の方に自分から「おはようございます」と

おはようございます!!



あいさつをしていました。あいさつをされた方も、微笑みながらその児童にあいさつを返していました。「おはようございます」という一言に、子供たちと地域の方の心が通いあう、心温まる光景でした。

翌日、同じように正門に立っていると、6年生の女子が歩道で、すれ違う方に、「おはようございます」とあいさつをしていました。学校の中であいさつができるだけでなく、地域の方にも心を届けることができる明神小の子供たちは、本当に素晴らしいと思います。